2020年度第1回外部研究評価委員会の主要意見及び国環研の考え方

研究事業

- 災害環境マネジメントに関する研究事業（災害環境マネジメント戦略推進オフィス）
- 社会対話に関する事業（社会対話・協働推進オフィス）
- リスク評価に関する研究事業（リスク評価科学事業連携オフィス）

委員会の主要意見

現状についての評価・質問等

〇災害環境マネジメント、社会対話、リスク評価のいずれも大変有意義な取組みであり、着実に進展している。【事後】

〇2020 年度はコロナ禍にあって社会対話活動に大きな制約があったにもかかわらず、オンラインによる対話イベントや動画配信等によって期待以上の成果を上げたと評価できる。【年度】

今後への期待など

〇災害環境マネジメントにおける実践的な研究成果と社会貢献，対話オフィスにおける多媒体を用いた情報発信，環境リスク評価における環境施策や研究者，行政に対する貢献は大変重要で大きいものがある。こうした活動を継続し，全体的な認知度を上げる努力を期待する。【事後】

〇対話機会がウェビナーや動画配信オンラインによって充実し、ノウハウも蓄積されたことを評価します。このノウハウを地方自治体や地環研にも共有されることを期待する。環境リスク評価事業拠点として、新 Webkis-Plus が公開され、そのアクセス件数に驚かされた。【年度】【事後】

〇国環研の研究事業は社会に向けた顔になるので、今後さらなる発展を期待する。【事後】

主要意見に対する国環研の考え方

① オンラインによる対話イベントや動画配信等についても今後一層発信に力をいれたいと考えています。

② 災害環境マネジメントにおける実践的な研究成果と社会貢献、対話オフィスにおける多媒体を用いた情報発信、環境リスク評価事業を通じた環境施策への貢献に対する高い評価をいただきありがとうございます。今後も活動を継続し、また、認知度を上げるような努力も行いたいと思います。

③ リスク評価科学事業連携オフィスの新 Webkis-Plus へのご評価ありがとうございます。Webkis-Plus は実際によく検索に活用されております。引き続きアクセス数のような具体的な指標で成果を示せるように工夫をしたいと思います。